



発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区長嶺南 1-5-4 0
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 <http://1985orange.com>

祝 40周年目突入!!



くまもと障害者労働センター
代表 倉田 哲也

今年はいくまもと障害者労働センターは40周年を迎えます。私も地域で生活を始めて同じ年になります。

地域へ出るまでは温室のような養護学校で幼児期から高校生まで過ごしました。高校生になってから当時の担任から「あなた達はココに居るだけで社会から差別されているのよ。」と言われた事があります。はじめは何の事か分からず戸惑いましたが、くまもと障害者労働センター初代代表池田大輔さんの存在を知り、障害者も地域で暮らせることを知りました。

それから、私も施設ではなく地域で暮らしたいと思いが強くなりました。それまでは施設で暮らすのがあたりまえだと思い込まされていました。



牛乳パック整理をする池田さん

その当時はヘルパー制度も無く、「周りからは衣食住はどうするの?」と言われて、地域での生活を反対する人もいました。「せいぜいカップラーメンしか食えないよ。」と言われていました。確かに私が地域での生活を始めた頃、よくカップラーメンや出前を取って食べていました。

「コンビニも無い時代でしたから…。」

それでも、自由はありました。
好きな時に起きて、食べて、寝て。

養護学校の寄宿舎で、毎日のスケジュールが決まった生活を過ごしてきた私は、誰にも束縛されない自由を手に入れたのです。

それから仕事を始めました。
くまもと障害者労働センターに入る前に池田大輔さんがおれんじ村を立ち上げて、水俣から無農薬の甘夏を販売されていたので一緒に仕事をすることになりました。

最初は障害者3人でしたので、販売先は養護学校しかありませんでした。商品は無農薬のお茶やコーヒーや粉石けん等安心安全な食べ物と環境にやさしい商品を販売していました。

次に取り組んだのは、牛乳パックのリサイクル活動でした。当時の牛乳は「ビンから紙パックへ」。効率を優先した社会情勢でしたから、環境より効率を第一に多くの環境破壊が進んでいました。その環境破壊を少しでも減らして行く一つとして、牛乳パックのリサイクルを熊本市内の生協と一緒に取り組みました。当時はボランティアの生協の組合員さんと一緒に作業をし、互いに交流も深めていきました。

2000年初期になると、私たちの活動の必要性が社会的に認知され、牛乳パックリサイクルはスーパーや行政も取り組む様になってきました。

「やっと時代が私たちの取り組みに追い付いたのです。」

なので、私たちは次の事業に取り組むことになりました。

ちょうどその頃は、くまもと障害者労働センターで働く障害当事者の人数も増え、みんなの地域での生活を保障するためにも賃金を保障する必要に迫られていました。

売り上げを伸ばす事業を進めるため、カフェやお菓子作りに取り組みました。

一方で私は自動車免許取得に挑戦していました。両上下肢に障害のある私は足でハンド操作をしての免許取得という、前例のないチャレンジ。免許センターとの交渉に 2 年もの歳月がかかりました。

私はただ自動車を運転して仕事や旅行に行きたいだけなのに…。

免許取得をはじめ自立生活や旅行等で前例が無いことを理由に諦めさせる社会のおかしさ。

そんな社会を変えるため、私は挑戦を続けました。

2003 年には社会福祉法人を取得し、現在では障害当事者 40 名の内、約半数の 20 名が親元から離れヘルパーさんを利用しながら、地域での自立生活を楽しんでいます。

障害のない人も 20 名になり、現在の事業は主に

- ・お弁当作りと配達（毎日約 300 食程）
- ・菓子製造販売
- ・名刺印刷
- ・トイレットペーパー
- ・事務用品の販売
- ・イベント販売
- ・講演活動 などなど、

個人に合ったスタイルでの仕事を作り仕事にはげんでいます。



🍊 ジョニー・デップてつやと
スノーマンファンまえちゃん

40 年前の設立当初より一貫して大切にしていることがあります。

障害のある人もない人も、くまもと障害者労働センターで働くみんな、障害のあるなしにかかわらず事業展開や人事のについて話し合っ決めて決めます。そのため、物事を一つ決めるのに大きな大きな労力が必要です。なかなか 50 人も 60 人もいると、みんなそれぞれ意見があって、決まりません。

でも、これがくまもと障害者労働センターの理念であり、40 年間続くスタイルです。

また、障害者差別をはじめあらゆる反差別運動や環境問題、障害児の入学や進路問題にも関わってきました。

障害当事者が地域で生きていくことで、合理的配慮やインクルシブ教育を推し進め、障害者だけでなく、誰もが安心して暮らす社会を目指す事が大切なのだと思っています。

これからも、くまもと障害者労働センターは「共育・共働・共生」社会を目指し進んでいきます。



🍊 保田窪時代のおれんじ村



2024年10月26日(土)におれんじ村初めてのオータム
 だけどハロウィンフェスティバルを地域の方々と開催しま
 した。ハロウィンということで、各自おもしろい仮装を
 して参加しました。来年はもっともーとパワーアップして
 秋祭りをしたいと思います。



今年は長い長ーい夏でした。秋はいつ来て、
 いつ去ったのか。

あまり秋を感じることなく、おれんじ村では
 秋祭りを開催しました。

おれんじかふえが事務所の隣に移転して3年。
 新型コロナウイルスさんのブームも去り、や
 っとこの場所で開催することができました。

念願の秋祭り。そし
 て今回は初めての試
 みでもある「ハロウ
 イン」がコンセプト
 のお祭り。



おれんじ村みんな思
 い思いの衣装で仮装
 して。ここでは祭の
 全容をお伝えすることはできないかもしれま
 せん。そこで小生の気の向くままにお伝えす
 ることとします。

🍊 スマイルかすよと
 ともみ&あやね

今回の秋祭りは、これまでの夜市と違い、
 おれんじ村村民総出での一大イベントです。
 企画、準備、片付けまでみなで行います。
 しかし当日の天候は雨模様。開催できるか
 50-50。それでも予定通り開催できるように
 多めにテントを準備しました。

このテント張りがたいへんでした。村の男た
 ち(ほぼ初老)が力を合わせて大きなテント

をあーでもないこーでもないと知恵と気力
 を絞り出しながらなんとか完成。やったぜ!!!
 同時に厨房の中では村の娘たちがせっせと
 調理。おれんじ村のお弁当で大人気の「ふみ
 この唐揚げ」と、おれんじかふえ店長監修の
 「こだわりすぎた焼きそば」の二品です。愛
 情と根性たっぷりで作りすぎてしまった?
 やっちまったぜ!とまあ準備の話はこのく
 らいにして、いよいよ秋祭りのはじまりで
 す。

オープニングを飾るのは、BOKの皆さんに
 よるジャズオーケストラと、チームプラス
 の皆さんによる吹奏楽。壮大かつ心地いい
 響きが会場を大いに盛り上げてくれました。

おれんじ村も
 負けてはいませ
 んよ。今回はハ
 ロウィンの楽し
 いイベントを企
 画しました。仮
 装人探しシール
 ラリーとハロウ
 インファッション
 ショーの二本
 立てです。



次のページにつづく

～皆さまご参加ありがとうございました～

シールラリーは全部集めると大抽選会の抽選券になるので、皆さんがんばっていました。きっと大抽選会の豪華景品に目がくらんでのことでしょう。

ファッションショーには野獣に恐竜に某有名ブラザーズに小さなプリンセスに血色の良いキョンシーに地球外の方まで。まるで映画の世界に迷い込んだかのように。ちなみに小生はキョンシー推しでした。え？かわいいだけじゃだめですか？失礼しました。不適切にもほどがありました。

最後に、秋祭りを無事に終えることができたのは、ご来場いただいた方々、「はいよろこんで」と快く協賛くださった方々、近隣にお住いの方々、皆さんのご協力によるものです。心より御礼申し上げます。

また、おれんじ村は40周年を迎えます。応援してくださる皆様とともに成長し続けます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



ちょっと恥ずかしいみうちゃん



大親友のしんたろう
ちよっぴりかすたか



魔女っ子めくちゃん



マントを着た陽さん
ブラボー!!



マント姿の
けいすけ&かすたかかぼちゃん



魔法使いの
くつきーとてるちゃん



うんこを持ってきたよ



魔女春奈子



ペンギン村じゃないけど、
おれんじ村の
あかり&ゆかり



駐車場の門番けんじ

こんにちは。新年明けましておめでとうございます。今年もおれんじ村をどうぞよろしく願っています。今年にはみなさんにとってどんな1年になるのでしょうか？今年も災害等が日本全国でないように願っています。今年の3月日本で、ドジャースがカブスと開幕試合を行います。絶対盛り上がる事間違いありません。

巨人に元ソフトバンクの甲斐がフリーエージェントで巨人に来ると元楽天の田中将大が巨人に入るなんて巨人ファンにとってはたまらない嬉しい事です(笑)これで今年、日本一になること間違いありません。願うばかりです。

2月と言えばバレンタイン。ご家庭に自分のご褒美におれんじ村のバレンタインギフトはいかがでしょう？たくさんのご注文お待ちしております。

IT部 E



編集後記